



夢実現（大矢野中学校だより）

令和6年度 第21号 令和6年12月23日(月) 文責 校長 松田 真也

2024年も終わりが近づいてきました。今年はどんな年だったでしょうか。「**夢（目標）実現**」できましたか？心落ち着かせて、今年を振り返りましょう。そして、次の夢（目標）を考えましょう。良い**年の瀬**が、良い**新年**につながります。

オリンピックで日本人選手の活躍が見られた暑い夏。大谷選手も活躍した。そして、大中生も大いに活躍してくれて、嬉しいことの多い一年でした。2学期の最後の様子をお知らせします。



学校のクリスマスコーナー

令和6年生徒会…任期終了。次の代へバトンパス!!

早いもので、令和6年の大矢野中学校をリードしてくれた**生徒会**が幕を閉じようとしています。11月26日に立会演説会と選挙を行い、**新生徒会三役**が決まりました。今、引継ぎに向けた準備をしています。1月14日に**任命式**を行います。（新生徒会三役は改めて紹介します。）

小崎生徒会長をはじめとする令和6年の生徒会執行部は、「**シン・大中～進化する大中生、心身を鍛える大中生、信頼される大中生～**」のスローガンを掲げ、大中タイムやあいさつ運動、体育大会などの行事、そして、各種委員会の取組を充実させようと、誠実に、自主的に、精一杯、**アイデア**と**リーダーシップ**を発揮して、たくさん尽力してくれました。本当にご苦労様でした。

生徒会執行部を代表して、生徒会・三役及び議長団の3年生のコメントを紹介します。



生徒会長 小崎 美陽さん
「当たり前のことを当たり前にでき、挨拶あふれ、みんなが行きたいと思う学校」を目指し活動してきました。上手くいかない事もありましたが、みんなの協力のお陰でここまで来れて感謝しています。2年生の皆さん、次の大中をよろしくお願ひします。応援しています。



副会長 木村 真琴さん
2年間、生徒会で活動させてもらいました。特にこの1年は、いろんなことにチャレンジできて良かったです。会長の公約に沿って各委員会も協力し、全体で活動してくれたことが嬉しかったです。新生徒会の皆さんにも、ぜひみんなで協力して活動を進めてほしいです。期待しています。頑張ってください。



議長 鶴田 俊平さん
1年生の3学期からずっと生徒会に携わってきました。書記の頃は役に立てているのか不安もありましたが、今はやってきて良かったと思っています。新生徒会のみんなにも自信を持ってチャレンジしてほしいです。



副議長 川口 琳久さん
1年間生徒会で活動し、はじめは緊張で集会や議会の進行を間違えることもありました。ようやく慣れてきて、今は充実感を味わっています。新生徒会の皆さんも失敗を恐れず、頑張ってください。

【もっと広がれ、交流の輪！！・・・「ませこぜ大中タイム」を実施しました。】

令和6年生徒会が最後の企画として、「**ませこぜ大中タイム**」を12月17日(火)に行いました。これまで学級内での人間関係づくりとコミュニケーション能力の向上を目的に行ってきました「**大中タイム**」を、さらに学年全体に広げ、普段交流がない他のクラスの人と話をして、友だちの輪を広げようという目的で実施しました。話したことのない人もいて、はじめは緊張気味でしたが、少しずつ話も弾んでいきました。新生徒会では、学年の枠も超えた「もっとませこぜ」も考えています。



2024/12/17

12/17 門松が完成!! ~みんなの力で立派なシンボル作成~



学校主事の倉橋良子先生と多くの生徒の協力で、正面玄関に立派な門松が完成しました。

あまり経験することのない門松づくりを、「なるべく生徒の力で、お金をかけずに」をコンセプトに取り組んでみました。

大きな竹は、上地区の山崎誠也様に分けていただきました。一番難しい竹の斜め切りは先生方に手伝っていただきましたが、それ以外は、ボランティアで集まった生徒が、放課後の時間を利用して、竹を切ったり短冊状に割ったり、集めてきた材料を適度な大きさに切りそろえたりしました。土台となるドラム缶を竹の短冊で囲み、準備はそろいました。



そして17日の朝、新生徒会三役とボランティアで、土台に竹を立てて縄で結び、松、竹、梅、熊笹、葉ボタンなどを飾り、最後に燈をつけて完成させました。

みんなの力が合わさって出来上がった門松は、思った以上に立派な大中のシンボルとなりました。完成をみんなで喜びました。これで、良い新年が迎えられそうです。



【トピック】 給食の配達、1年間、お世話になりました。

北側校舎改修工事の1年間、給食は毎日、給食調理室から配膳室に車で運んでいただきました。工事終了に伴い、配達の皆様の業務も終了しました。急な坂道を「安全に、大切に」運んでくださった林田様、平山様、満田様、ありがとうございました。お礼に、生徒が大切に育てた花をプレゼントさせていただきました。



↑代表して林田様へ



また、学年ごとに、全校でも一人一鉢の花を育てています。卒業記念に、卒業式を彩るために、お世話になっている地域の方々にプレゼントするために。その花々も、ボランティアでお世話をしてくれている生徒がいます。優しい思いが、何よりの肥料です。ただ今、元気に成長中です。